

# 小学校区コミュニティプロジェクト

## 1

[何のために?]

### ねらいや効果

コミュニティ活動について、取り組んでいる方々から学び、広めることにより、お年寄りから子どもまで人間味あふれる「つながり」をつくります。また、1万人程度の人口が適当で、子どもの参加を得やすく、拠点となる施設があるという理由で、小学校区を望ましいコミュニティ単位と考え、特色を活かしたコミュニティづくりに取り組みます。さらに、全市的なコミュニティ政策を確立し、コミュニティ間ネットワークをつくることにより、全体の環境改善、理想の環境社会をめざします。



**関連する環境指標** (詳細は資料編参照)  
理想とする小学校区コミュニティ数

## 2

[何をいつどのように?]

### 具体的な進め方

□A: 市民主体・行政共働 / □B: 行政主体・市民参加

#### 1) コミュニティ活動に取り組む人や活動を知り合う

	21-25年度	26-30年度
情報が確実に伝わるしくみをつくる	□A ●●●●	●●●●
様々な機会を通じた人や活動との交流の場の創出	□A ●●●●	●●●●
まちかどネットワーク(生涯学習人材情報誌)との連携	□A ●●●●	●●●●
人や活動(団体)を通じてのネットワークづくり	□A ●●●●	●●●●

#### 2) 小学校区コミュニティづくりの人や団体を募る

地区別環境寄合による地域住民とのつながりの継続	□A ●●●●	●●●●
家庭教育推進委員会等との継続的な交流と連携	□A ●●●●	●●●●
地域の誰もが関わり、心に残る催事の計画、運営	□A ●●●●	●●●●

#### 3) モデル学区での理想の小学校区コミュニティを育む

理想の小学校区コミュニティのあり方の調査研究	□A □B ●●●●	●●●●
モデル学区における理想の小学校区コミュニティづくり	□A □B ●●●●	●●●●

#### 4) 全市的なコミュニティ政策の確立

コミュニティ活動のための利用しやすい拠点施設づくり	□A ●●●●	●●●●
モデル学区での活動の検証と全市的な制度の検討	□A □B ●●●●	●●●●
コミュニティ政策の調査研究と制度の確立	□A □B ●●●●	●●●●
コミュニティ課の創設検討	□B ●●●●	●●●●

3

### [どこで?] 実施場所

日進市全域、モデル地区

4

### [誰が誰と何を?] 取組主体と関係者の役割

**取組主体** 市民団体（地域自治組織、環境パートナーシップ組織）  
市（政策推進課、市民交流課、福祉推進課、水と緑の課、生涯学習課）

#### 市（行政）

各課横断的なコミュニティ政策の確立  
コミュニティ施設の整備  
取組主体への支援

#### 市民団体

プロジェクトの推進  
団体間相互交流への参加  
活動への参加・協力

#### 事業者

活動への参加・協力

#### 教育機関

活動への協力・支援

#### 市民（滞在者等を含む）

活動への参加・協力

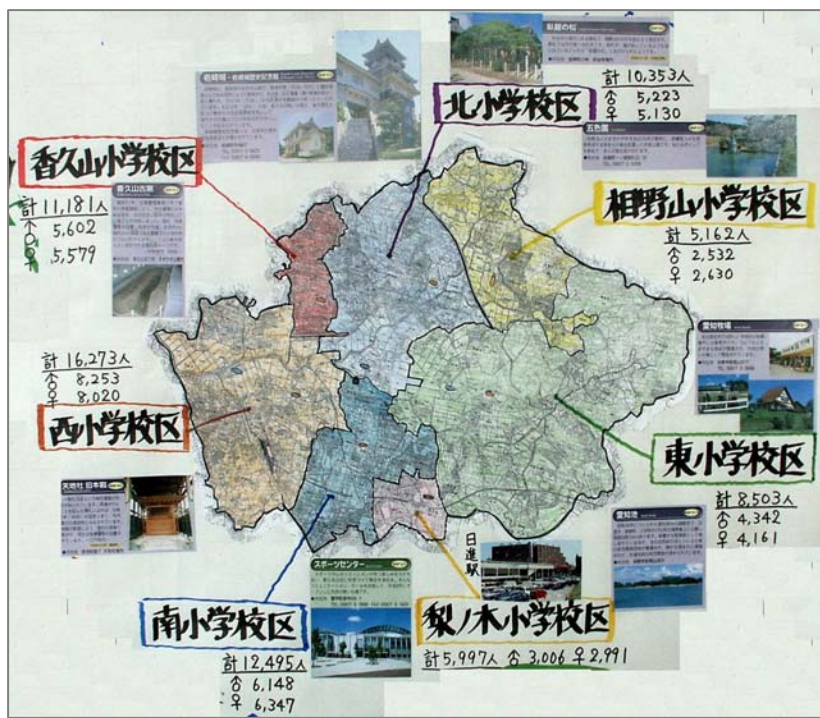
#### 市職員

専門分野での支援

注）：取組主体としての役割、：関係者としての役割

5

### [補足は?] 備考



小学校区の特徴をまとめた模造紙（梨ノ木は正式には梨の木）



環境寄合の様子(香久山小学校区)



環境寄合の様子(北小学校区)